

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告について

## 1 調査の概要

- (1) 目的 本調査結果を児童・生徒への学習指導の改善・充実に役立てるため  
(2) 実施日 令和4年4月19日(火)  
(3) 対象 小学校6学年児童・中学校3学年生徒  
(4) 実施教科 小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科  
(5) 調査内容  
①当該学年までに身につけておかなければならない基礎的な知識及び技能  
②基礎的な知識及び技能を問題解決のために活用する力

## 2 調査結果

### 【小学校】

(平均正答率…%)

	国語	算数	理科
青森市	69	65	69
全国(公立)	65.6	63.2	63.3
本市と全国の平均正答率の差	+3.4	+1.8	+5.7
青森県	68	63	66

### 【中学校】

(平均正答率…%)

	国語	数学	理科
青森市	71	53	50
全国(公立)	69.0	51.4	49.3
本市と全国の平均正答率の差	+2.0	+1.6	+0.7
青森県	69	52	49

## 3 本市児童・生徒の学力の状況

- 全ての教科で、正答率が全国平均を上回っている。
- 基礎的な知識及び技能を問う問題の正答率が高い。
- 以下の問題の正答率が低い。
  - ・複数のデータから必要な情報を読み取り、それに基づいて判断する力を問う問題
  - ・日常生活と関連付けて考える問題
  - ・記述式問題

## 4 今後の取組

協働的な学びで特に思考力を育成する、以下のような学習活動を積極的に取り入れられるよう、研修講座や学校訪問等で具体的な指導・助言を行う。

- ・ICT等を活用して収集した、文字、画像、グラフや資料等、様々な情報から必要な情報を読み取った上で、判断したり、表現したりする活動
- ・自分の考えと他者の多様な考えを比較検討したり、関連づけてりしながら意見を練り合い、文章で説明する活動
- ・課題を解決するために、各教科で培った知識・技能を生かして新たな考えや最適な解を導き出す探究的な活動